

2017.9.2

2017年度公開講座 「充実した暮らしをサポートするまちづくり： 有機的な地域システムとは」

今回講師を担当いたしました国際教養学科の中村です。我が国では、少子高齢社会の急速な進展の中、自立かつ持続性を備えた地域づくりの構築が目前の課題と位置づけられています。前年度アイランドシティにおいて実施した、本学研究奨励交付金研究「女性の社会における活躍推進と持続可能な地域経済に関する研究」成果報告を中心に、経済学という視点から、暮らしやすい・住み続けたいまちづくりについて講演いたしました。当日は、地域の皆さま、公民館長、主事、行政や研究機関からは福岡市、宗像市、下関市立大学、本学社会人学び直しプログラム修了生の方々にもご出席いただき、地域、社会と大学のつながりの大切さを改めて実感いたしました。当日の様子は、福岡市や下関市立大学地域共創センターホームページなどで紹介させていただいており、今後とも、3名の研究室所属大学院生とともに、多様性を備えたネットワーク形成をさらに深めながら行政、地域や社会との連携を高めてまいります。



2017.9.25

第9回九州・沖縄アイランド女性研究者支援 シンポジウム in 福岡「女性リーダー育成と 大学の役割」を開催しました。

九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムは、Q-wea参加機関（九州・沖縄の国公立大学11大学：2017.9時点）の持ち回りで、2009年から年1回開催されているものです。第9回となる今回は、本学が主催校となり「女性リーダー育成と大学の役割」をテーマに開催いたしました。

第1部の基調講演では、日本女性学習財団理事長村松泰子先生に「大学の男女共同参画と求められる女性リーダー」をテーマにご講演いただきました。組織の意思決定の場において女性がいる景色をつくる必要性を説かれた先生の言葉は、多くの参加者の印象に残りました。

続く第2部のパネルディスカッションでは、「女性リーダー育成のためのアクションプラン」をテーマに、放送大学福岡学習センター所長の菊川律子先生をコーディネーター、基調講演講師の村松先生と科学技術振興機構プログラム主管の山村康子氏をコメンテーターに迎え、Q-wea参加機関10大学の理事・副学長がパネリストとして参加しました。



公立大学法人 福岡女子大学広報 FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

Winter 2017

No. 101

特集

2017年度 かすみ祭
[ミス & ミスター福岡女子大]
インタビュー

高い志を持つ仲間と
切磋琢磨しつづ
学ぶ充実感

